

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅹ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	山田克宏、石岡和志	開講期	3年後期	単位数 1

【授業の主題】

人生の最終段階における介護の意義・目的を理解し、基本的な介護の知識・技術・態度を習得する。さらに残された家族などの悲しみに寄り添うグリーフケアについても、理解する。

【到達目標】

- 1) 人生の最終段階における介護の意義・目的を理解する。
- 2) 人生の最終段階にある人のアセスメントについて理解し介護の技法を学ぶ。
- 3) 人生の最終段階にある人を支える制度や、医療との連携の必要性を理解する。
- 4) 悲嘆のプロセスとグリーフケアの必要性を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 終末期における介護の意義と目的（事前の意思確認）（山田）
- 第 2 回 ライフサイクルと人生観・死生観（グループワーク）（山田）
- 第 3 回 ライフサイクルと人生観・死生観（発表・まとめ）（山田）
- 第 4 回 告知とインフォームドコンセント（グループワーク）（山田）
- 第 5 回 告知とインフォームドコンセント（発表・まとめ）（山田）
- 第 6 回 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて（山田）
- 第 7 回 人生の最終段階にある人の心身のアセスメント（ICF の観点から）（山田）
- 第 8 回 人生の最終段階にある人の心身の苦痛と諸症状の理解とケア①（山田）
- 第 9 回 人生の最終段階にある人の心身の苦痛と諸症状の理解とケア②（山田）
- 第 10 回 「在宅で看取るといふこと」～課題レポート（山田）
- 第 11 回 人生の最終段階にある人の家族ケア（山田）
- 第 12 回 臨死期のケアの方法 ①看取りのパフレット（山田）
- 第 13 回 臨死期のケアの方法 ②エンゼルケア（石岡）
- 第 14 回 施設における医療との連携（制度等を含む）（山田）
- 第 15 回 グリーフケア（山田）

【授業実施方法】

講義形式を中心に、グループワーク、DVD学習等を行う。

【授業準備】

ライフサイクルの理解と、人生観・死生観について考えることができるよう関連の文献を読む。

【主な関連する科目】

介護の基本，社会福祉概論，高齢者福祉論，障害者福祉論

【教科書等】

「新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ第3版」〈中央法規出版〉

【参考文献】

- 「『平穏死』のすすめ」：石飛幸三,講談社
- 「介護と看取り」：結城康博,平野智子,毎日新聞社
- 「自分で決定する,自分の医療 治療の事前指定」ウィリアム・モーロイ,神谷印刷
- 「悲しんでいいー大災害とグリーフケア」高木慶子,NHK 出版

【成績評価方法】

筆記試験 60%、レポート・グループワーク発表 30%、授業態度等 10%による総合評価。

【学生へのメッセージ】

死と向き合うことはどういうことなのか理解を深め、死生観に関しても考えていきましょう。